

IOSHからのメッセージ



英国労働安全衛生協会（IOSH）前会長

スチュアート・ヒューズ

20年以上の実務経験を持つ。行政、コンサルティング、産業界を経て、現職はメルセデスAMGペトロナスF1チームの安全衛生責任者を務める。「安全で健康的な職場環境は基本的人権」が持論。

Towards a safe and healthy future of work

Evolution or revolution?

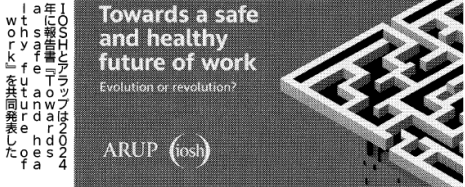


安心して働く文化育む

協会（IOSH）で発表された報告書「Towards a safe and healthy future of work」の序文で強調したメッセージだ。私達は、安全衛生の専門家として現場に関わってきたが、この思いこそが日々の原動力である。災害や疾病を防ぎ、一人ひとりが無事に一日を過ごされること、それが私の使命である。責だ。この思いを共有する仲間もいて感じている。

■技術発展の影響

私たちは常に変化を伴う世界で生き、働いている。その変化を加速させている大きな要因の一つが、AI（人工知能）を伴った新技術の発展と導入だ。これらは職場の安全と健康に好影響をもたらす可能性があるが、危険の予測と負傷の軽減、作業の効率化にもつながる。一方で、過剰な監視、ストレスの増加、判断力の低下など、新たなリスクを生む可能性もある。ゆえに重要なのは、新技術をただ受け入れるのではなく、慎重に向き合う姿勢である。



私は安全衛生専門家として、新技術が災害予防をどう進化させるかに関心がある。最近モントンの英国上院でのイベントに参加し、AIによる予測的安全の活用事例を学んだ。多くの専門家や業界関係者とともに話を聞いたが、いくつかの企業では、作業者がアプリケーションでデータを伝ったリスクアセスメントを行い、即座に危険を検出し、対応策を提示する仕組みを導入していた。AIを伴った新技術がもたらす好例である。ほかにも、高所作業のような危険な任務を自動化したロボットが担う事例も増えている。さらにウェアラブル技術の活用により、膨大なデータを知見をかけた判断と学習が進んでいる。

新技術が拓く安全衛生とリスク対策

AIが即座に危険検出、対応策提示

このテーマについては、イベントの参加者だけでなく、さまざまな場面で多くの人が意見を交わして来た。企業や安全衛生専門家は、新技術を積極的に活用し、働く人々の健康と安全を守るべきだと考える。

■慎重さも必要
しかし、慎重な姿勢も欠かせない。新技術の導入にあたっては、設計段階から安全衛生への配慮を組み合わせ、実装時には従業員の参加も必要となる。技術は複雑かつ前例のないリスクを生む可能性がある。特に、導入が急速かつ無秩序に進めば、労働者の安全や確立された権利が脅かされる恐れがある。移民労働者や技能の低い労働者など、弱い立場の人々にとっては、なおさらだ。

各国の労働安全衛生法規は、変化するリスクや新たな課題に十分対応できていない可能性があるため、政府が政策立案には関係者で連携し、実態に即した整備と定期的な見直しを進めねばならない。また、こうした議論はIOSHの専門家（人財）や人事・法務など人材に関する職種の参加も不可欠である。多様な視点から柔軟かつ実効性ある制度につながる。

前述のIOSHのプラットフォームの報告書でもこれらの点が強調されている。職場に影響を与える次の新技術を取り上げ、その利点とリスクを挙げる。例えば、ウェアラブル技術は意思決定

システム導入、従業員参加でリスク軽減



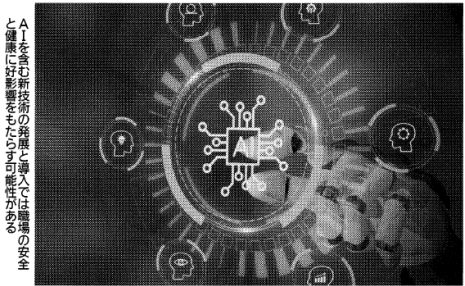
ロボット時代における安全なイノベーション

定に役立つ一方、常時モニタリングがストレ増加につながる可能性がある。外骨格装着型デバイス（エクソスケルトン）は筋肉や関節の負担を軽減するが、他の部位に負担がかかる場合もある。

新技術の導入には多くの課題があり、企業に適切な管理が求められる。第一歩として重要なのが、デジタル化に関する意思決定だ。従業員を問うと、こうした導入はトップダウンでなく、インクルーシブかつ透明性のある戦術のもとで進めるべきである。

■経営層のコミットメント

安全で健康的な未来へ、持続可能な働き方を支える企業文化の実現には、経営層のコミットメントが欠かせない。安全で健康的な未来へ、持続可能な働き方を支える企業文化の実現には、経営層のコミットメントが欠かせない。



安全で健康的な未来へ、持続可能な働き方を支える企業文化の実現には、経営層のコミットメントが欠かせない。安全で健康的な未来へ、持続可能な働き方を支える企業文化の実現には、経営層のコミットメントが欠かせない。

働く人の安全・健康・ウェルビーイング